

「第三者評価を受けて～事業者からのコメント～」

聖愛保育園

この度の第三者評価事業に参加することができましたことを感謝いたします。評価を受ける以前のこととして、自己評価を主に評価基準の項目を一つひとつじっくり吟味討議する機会がこのような事態ではないと思いつてできなかったことを反省し又、評価の結果を真摯に受け止め、今後の保育のあり様に大きな励みと努力の課題、目標ができましたことをこの事業と調査委員・評価委員の方々に対し重ねて厚くお礼申し上げますとともに再度、参加できますよう努力したいと存じます。

以下、4点のみ附記させていただきます。

イ 保育計画と指導計画

目的が明確にされていないように指摘を受けましたが、園独自の保育計画のもとにすすめていき、望ましい発達を目指してきましたので、さらに今後はよりわかりやすく掘り下げて明文化するように努めたいと思います。

ロ 延長保育での活動内容

延長保育計画として活動内容を再度、見直し検討していきたいと思います。

ハ こんなこともしています

卒園・修了証書入れを一人ひとり自分たちで作りました。平成 10 年度より卒園生が、毎月秋より牛乳パックをミキサーにかけ一枚のオリジナルの和紙を作り、修了証書入れの表紙づくりに使用しています。又、一年を通して園庭や散歩で収集した草花を押し花にして模様に入れています。

冬の寒いときに手がかじかんで牛乳パックですいた和紙の、たった一つしかない修了証書が出来上がり大喜びです。このように一人ひとりを大切に全職員で関わることを大切にしています。

ニ あゆみの編集

新園舎完成の1年後の昭和 57 年度より、園のあゆみ・足あとを一年づつまとめたものを年度の終わりに発行しています。今年は、“あゆみ NO.23 号”です。

内容は毎年、職員の企画委員のもとに編集され 40 ページ近くなっております。その年々のクラスの紹介をはじめ、地域との取り組み・支援活動 又、卒園生の保護者のコメントも一人ひとりからいただいており、バラエティーに富んだ内容の中にその年のあゆみを感じさせる園の情報誌として活用しています。保護者全世帯配布、近況報告をかねて近隣の皆様・地域の方々やOBの方に配布して読んで頂いたり又、市民センターや病院等に置き自由に閲覧して頂いており、地域支援活動の一端を担っています。